プラス かんきん

円(内訳は漁業被害認定

たる被害救済の累計実績

を期する以外にない。 強化し、不法投棄の根絶 を図る方策の基本は、徹

不法投棄の海上取り締

して、国、特に海上保

これに決めた!

五十三件)という多額な

最近の油濁被害の発生

て、関係当局に対して強 う、特に次の諸点につい 充強化され、無法者の徹

すること。 取り締まり体制を強化 明もしくは不法投棄の を展開し、原因者の究 強化し、または共同パ 局との国際的な提携を 安当局は台湾、韓国当 事故の未然防止対策と 馬海岸に漂着の廃油等

底的な追及が行われると

が、海上保安当局による まりの困難性、限界性が

監視取り締まり体制が拡 指摘されるところである

トロールの実施強化等

割と機能

.............

ERRHORE)

8 H 2 M H

E-Maken Hear-s

ADDRESS CHERT

(П-ДОПП-ХК)

BERROLE .

A ...

ENDING FRANC ENDING ENDING RESAL

UPER UPER (AREA)

く要望していくものとす

3

内海、内湾のノリ獲

進していく方針である。

の油濁事故発生の経緯と実態を勘案のうえで逐次、これを全国的に実行、 化③監視体制の強化③広域監視と連絡体制の整備④未然防止の啓もう・教育

同基本対策をまとめるに当たっての「現状認識」と「基本対策の内容」は

活動⑤防除清掃物の処理・処分上の課題―の五つだが、全漁連では、海域別

この日、決まった推進すべき基本対策の柱は、①不法投棄の取り締まり強

1

現

状

認

を期するため、今後重点

を提出することを決めた。

兵庫県漁業協同組合連合会 発行所 兵庫県水産業改良普及協会 神戸市兵庫区中之島20201

TEL 681-6954~7 兵庫県漁業協同組合連合会 発 行 人

策懇談会を開き、①原因者不明による漁場油灣被害防止対策の強 化 につ い金漁運は十月十四日、千代田区内神田の鎌倉河岸ビルで第三回油濁防止対

原因者不明油濁被害防止基本対策を集約が

全無連全国的に取り組みを広げます。

て、推進すべき基本対策を集約するとともに、②国、関係当局に対し要望書

拓

次のとおり。 原因不明による漁場油濁 被害防止対策の強化について

海・内窩においては油濁 わらず、東京湾、伊勢湾 ルートにおける不法投棄 られるほか、タンカー・ **被害の恒常的な発生がみ** 爾戸内海を中心とする内 関係者の努力にもかか よる漁場油濁被害の防止 を踏まえて原因者不明に 会」の論議と検討の結果 識しておく必要がある。 われ漁業者として強く認 した「汕澗防止対策懇談 よって、全漁連に設置

とする。 実行・推進していくもの え、逐次これを全国的に とその実態を 勘案 のう 別の油濁事故発生の経緯 集約することとし、海域 的に推進すべき対策の基 本事項として次のとおり

推進すべき基本対策 1

2 に努めるものとする。 監視機構の組織づくり による県を一円とした 漁連(地方基金も含む) て、漁業者―漁協―県 の被害実態等に応じ 府県にあっては、過去 発生の恐れの高い都道 油の漂着等により被害 監視機構の主要な役 オイル・ボール、麔

ながる基本対策で 生の未然防止につ 絡通報は、事故発 早期発見・早期連 あるので、漁業者 オイル・ボールの 湾における廃油、

- 1

*#SECONSS

a onto

日上の事を放送を示けへの見る

X40HHW0BH

向が継続するとの保証は

なく、事故が頻発する可 ものの、今後ともこの傾 件数は減少の傾向にある 被害に達している。 七カ年累計発生件数四百 除清掃費七億三百万円 額十一億七千百万円、防 額は、十八億七千四百万 六年度までの七カ年にわ 昭和五十年度から同五十 済基金が発足して以来、

1

タンカー・ルート海

域をはじめ、東京湾

まり当局の組織的、 夜兼行にわたる取り締 殖シーズンにおける昼

> (2) りの重点実施を図ると 監視体制の強

原因者不明による漁場

場および漁場被害の未然 を推進するものとする。 防止を期した次の諸対策 動を全国的に展開し、漁 連携を密にした漁業者組 の指導、援助のもと、わ 視体制づくりに努める運 織みずからの主体的な監 れわれ漁協系統組織との 署、水産関係行政機関等 局をはじめ各海上保安部 このため、海上保安当

機構の確立 県を一円とした監視

ア、早期発見・早期涌 Ø 報体制の確立 洋上、内海、

制をつくり上げる必要が 動した官民一体の監視体 り締まり体制の強化と連 前記(1)の海上における取 防止を期するためには、 池燭事故の実効ある未然

原因者不明漁油漏被害防止対策の運動展開図

ている。

(財) 漁場油濁被害救

本問題の根本的な解決

2

最近、問題海域とな

ること。

点取り締まり海域にす 伊勢湾、瀬戸内海を派

り締まり強化 不法投棄の取

底的に取り締まり体制を

南諸島、五島列島、対 っている沖縄諸島、藤 諸島等へ常習的に漂着し 沖縄諸島、薩南諸島、五 およびオイル・ボールが

島列島、対馬および伊豆

(1)

が原因と考えられる廃油

2

辺漁場に対する被害 が発生した場合、周 場合の緊急対応と指 を最少限にくい止め 油濁等による被害 油濁等被害発生の

2 のとする。 制づくりを推進するも

域的な監視、取り締ま

推

おける出動・処理の 急通報および現場に る等、その初動・緊

し、上記①の考え方に 防止対策を推進する。 瀬戸内海とすることと 当面の重点海域は、

する。

よって、被害発生 くりを行うことに 公庁船等による定 た航空機および官 の援助を前提とし 期的な監視体制づ は水産関係機関等 殖期間中において もに、特にノリ發 に万全を期すとと の収集・連絡体制 整備を通じて情報 のモニター体制の

する。

織づくりに努め、

基づく恒常的な組織体

に当たるものとす 万全なる体制づくり

防除資機材の整備

発見・通報の連絡 体制の確立を推進 どとの漁業者自ら 漁場、漁協単位

る

と協力のもとに、 および漁協の理解

と備蓄

油濁による漁業被

(4)

未然防止の啓

もう・教育活動

を図るため、国・眞 害の防止または軽減

の未然防止を推進 1 湾・伊勢湾等のいわゆ られる瀬戸内海・東京 県漁場への影響が考え 元県のみならず、隣接 によっては、被害が他 およびその位置的状況 の特性、漂流油の規模 油が有する広域拡散

による漁業被害の未然 な連絡と監視体制の組 県漁連(地方基金も含 と協力のもとに、 る内海・内湾関連地域 む)の参画した広域的 においては、取締当局 水産行政機関の指導 油濁 関係

る指導徹底 当たるものとする。 海上保安庁・各海上

て、海洋汚染防止法令 同修練会等の場を通じ 対象とした各種研修会 局・船舶局等が実施の 船舶所有者・乗組員を (免許更新も含む) 海技資格 取得試

除清掃物は、その性質

.

機関の協力・指導方を 当局をはじめ関係行政 底されるよう、運輸省 事故を起こさせないと 要請するものとする。 遵守意識の高揚、油淵 いう自覚と責任感が常 海上公害取締部署の

課題 処理・処分上の 防除清掃物の

伊勢湾・瀬戸内海にお

害が頻発する東京湾・

不法投棄に原因するも

1

回収廃油等の処理施

巡回および訪船指導の 原因者不明の漁業被 開発協議会」、「瀬戸 るものとする。 支援・協力方を要請す 内海環境保全協会」の とくに「瀬戸内海水産 識が高揚されるよう、 投棄の根絶をはじめと として、廃油等の不法 また同海域を重点海域 よび海洋環境保全の意 した海洋汚染の防止お 瀬戸内海の特殊性

等 う事前に協議しておく け入れ処分ができるよ 関係市町村施設での受 の専門処理業者および 実態にあるので、県内 域にはこれらの受け入 たり、二次公害を起こ 設によりその処分に当 上、高温・高熱処理施 きるように配慮してお れ処分設備が未整備の るが、漁村および沿岸 さないことが肝要であ 事故発生時の処理

絡体制の整備 蓄を進めるものとす の計画的な整備と備 等の助成措置と指導 を得て、防除資機材 広域監視と連 1 海域である。これら内海 油濁事故発生の常習的な 内海等は船舶が輻輳し、 するものとする。 啓もう・教育活動を展開 事故の未然防止に関する て、官民一体による油濁 • 内湾を重点 海 域 とし 東京湾・伊勢湾・瀬戸 事故発生未然防止に

成・配布 た場合、漁業・漁場に 関する啓発資料等の作 油濁事故等が発生し

するPR活動の展開に 通じて油濁等による事 を作成し、その配布を ら「事故発生の未然防 態」や漁業者の立場か **敬発生の未然防止に** 止を喚起した諸資料 が「地先漁場の利用実 め、漁協系統組織自ら 企業の理解を深めるた ぼすことについて船舶 甚大な被害と影響を及 ・海運業界および関係 行政機関の協力によ 附-

保安部署、運輸省海運 4 の根絶とその抑止効果 強く要請し、不法投棄 の強化が図られるよう 船舶の根拠港に対する を期するものとする。 巡回ならびに訪船指導 とを前提として、小型 な理解と協力を得るこ 公害取締部署の全面的 い実情にあるが、海上 な啓発・指導を行い難 環境保全団体との連

2 け、防除清掃物の焼却 市町村等の協力を受 は、地元県および関係 ため、このような問題 水産物・諸資材・諸施回収油・汚染された 特約措置 を有する地域にあって 設等の処理・処分に当 推進するものとする。 **施設を整備する対策を** する地域が多い。この たり、各種の制約を有 専門処理業者等との 廃油等回収された防

- 2 油濁被害防止対策の機構と役割 数が多いため、組織的 に、小型船舶はその隻 のと推定される。 ** 市广内を取り 日本系令 ボア内共水県 ロリロリ4 ENG (ED) anna ma Bean Ġ. 5 **(1 1** 設の整備 NOW HOL BEIRTER (11) **6 ®** 网络约约金数

とほぼ相似した推移を示 低水温は一昨年(55年) ている。このような夏季

> 歌山県田辺市で行われた 漁況―去る10月中旬、和 復するものと思われる。 とみられ、今後は若干回

太平洋南西海域における

した(図参照)。

方、塩分は水温とは

LC 程度の低目に回復し つつあり、10月中旬では を持続しているものの、

徐々に例年水温に近づき

からやや低目を 示し始

特に7月から8月に

阪湾における水温は、既海況―今年の播磨灘、大

漁

(57年10月)

海 況情 兵庫県立水産試験場 報

類(チッソ、リン)は なっている。これは9日 プランクトンによる消費 ソ分が例年の半分以下と 結果によると、特にチッ ものの、10月上旬の観測 はやや例年並に近づいた できたが、今年も夏季に %程度で少な目に推移-~下旬に多かった珪草 昨年ともに例年の チイワシ資源は全国的に

いCと大幅な低目を示し かけては例年より、20~

その後も低水温傾向

ことから、 よう。 れを上廻る来遊がみられ としては前年並かややそ 向きのきざしもみられる 期の来遊状況からみてト 近の産卵状況や今年上半 ている。このように現在 とは考えられないが、 資源水準は低い状態にあ 13~15万トン台と半減し これが急に回復する 南西海区全般

マアジ=マアジ資源もカ

ウルメイワシ― ウルメイ ワシ資源は前二者に比べ や 度に減少している。この 最近10ヶ年の間に約5%程 上向きのきざしがあるこいが、昭和55年以降やや ため急激な回復は望めな 的に著しく低い水準で、 タクチイワシと同様全国

べてやや多く出現したが 灘では 0 才魚が例年と比 う。なお、大阪湾、播磨 土佐湾やその周辺域を中 かややそれを下廻るだろ は海区全般として前年並 および1才魚以上の来游 来遊状況からみて、0ヶ ト半期中頃には南下の見

いるため、マイワシを除 年より低水温に推移して より早目となる模様。 いては南下の時期は例年 での予測であるが、大阪 前年を下廻るだろう。 および1才魚以上の群も 以上、この予測は四 九州、紀伊水道海域 播磨灘では夏以降例

れており、下半期は0才 みて減少のきざしがみら 水準で横ばいの状態であ 資源は昭和50年以降高い 示し始めている。マサバ たがその後次第に減少を サバ類―昭和53年に全国 で160万トン漁獲され たが、今年上半期の0 1.才魚の来遊状況から

近年著しく減少し、その **30万トンから53年以降は** 漁獲量は昭和48年までの の量は前年同様多い模様 を中心に出現しておりそ 群は前年同様、薩南海域 期待される。今年の産卵 期においては、上半期の は前年同様少ないだろ 心に来遊するが、その量 う。これからの産卵群は 推移している。今年下半 5万トン前後の漁獲量で 的には最近10ヶ年は4~

以下と思われる。 は前年並、東側では前年 して、南西海域の西側で

下半期はこの群を主体と 才魚の来遊状況からみて

7

難の即応体制等につい

第八管区海上保安本部

拓

ば例年並となっている。 しかし、9月中旬以降は

て、

ほぼ前年並の来遊が

2才魚以上の群も加わっ らみて、1才魚を主体に 今年上半期の来遊状況か は依然として全国的に高

冬期

海

い水準を維持している。 マイワシ―マイワシ資源

急速に回復し10月にはほ

示していたが、8~9月

た台風による集中降雨に にかけて連続して来襲し 雨気味で例年より高目を 逆に7月中旬までは空梅

り。

て年変動が小さく、

性魚類の予測は次の通 昭和57年度下半期の回游

位におかれては海難防止 備して出漁船の海難数財 と防止に当られます。 れており、本年も十一月 で常時一隻の巡視船を配 年同海域に巡視船を配備 発が予想されるため、 して救難即応体制がとら に出漁船が多く海難の多 では冬期隠岐島周辺海域 日から翌年二月末日ま つきましては乗組員各 ②集団操業と定時連絡時 くとと。 具の使用法に慣熟してお 器等を点検整備し、各器 うちょすることなく、 それがあるときは、 (1)救命・消防設備の点検 膨張式救命いかだ、消火 整備と使用法の慣熟 に速報すること。 上保安部署又は巡視船艇 **遭難信号自動発信器、** 海難防止関係 ちゅ

を通報すること。万一の 場合は、相互協力に心が 時連絡時には、必ず位置 **集団で操業を行い、定** (6)海上安全作業衣等の着 常に十分な乾げんの保持 を超えないように(乾げ (5)適正な乾げんの保持 に努めること。 の安全性に留意してい、 んマークのない船は自船 **徴荷は、乾げんマーク**

について遵守励行方よろ

と万一の場合の救助が効

の位置通報

しくご協力の程お願いい 果的に行われるよう左記

と。なおこれらはいつで 救命胴衣を着装するこ は、必ず安全作業衣又は 上甲板で作業する場合 で 動静把握が極めて困難と 域申請を行った相手局へ 施するとともに、 支障を来すことがあるの するもの等があり、 通報せず、他の局へ通報 域申請を行った相手局に なり、事務処理上非常に で出域するもの、 出域する場合に、無断 出域通報は確実に実 また入 必ずる その

斜線部分はほぼ平年並の範囲旬別平均水温の平年値との差

(明石)

生したとき又は、そのお

救助を要する事故が発

海難救助関係

(3)見張りの励行

自動操舵航行中の事故

昼間漂泊中の衝突事

記

と見張りを怠らないと 自動操舵装置使用の慣熟 故が後を絶たないので、

し、荒天が予想される場 常に気象情報を把握 早日に避難すると 安易に変更しないこと。 があるので入域する場合 緯度経度を付 記 するこ 入城予定日時を決定し 勘案して、入域位置及び しない海域(公海上)等 や、入域位置が申請を要 定日時を変更するもの なお、入域位置は必ず 気象・海象等を十分

(4)早期避難の励行

配周波数による通信障害 聴守すること。 報」として放送するので 考事項を、「海難防止情 警報その他海難防止の衆 五KHZで、関係の航行 漁業用船間波二三九四・ なお放送時間中は、

防止に協力願います。

も使用できる場所に保管 しておくこと。 緊急入域等手続き関

間で入域位置及び入域系 でも連絡すること。 で、必要な場合は、 (1)しょう戒担当巡視船は 通報すること。 を常時聴守しているの ニーハニドドス 二七五二四KHフ 二〇九一KHZ 通信連絡関係

緊急入域中請後、

毎日午後六時十八分から (2)しょう戒担当巡視船は

全国海難防止強調運動 上保 。スローガン 「冬の海無理と油断が事故のもと」

。重点指導事項 海上交通関係法令の遵守

冬季荒天対策の強化

旅客船の安全運航の指導 自動操舵装置の適正使用の指導

内海底曳用15馬力 水産庁基準適合 (15PS/1440rp ● ヤンマーディーゼル株式会社(####

マダイの標識放流実施 再捕者は通報にご協力を!

神戸市漁協青壮年部の研究グループ (信川勝次会長) はマダイ回遊範囲調査の ため下記のとおり標識放流を実施しましたので、標識魚を採捕された方は通報方 よろしくお願いします 記

1. 放 流 状 況 放流場所 標識の種類 犀

放流年月日 数 大きさ アンカー型タグ 神戸市垂水区 平均 57.10.16 500尾 平磯灯台 130 mm

再捕報告について (以下の項目についてお知らせください)

再捕年月日

2) 3) 4) 再捕場所 再捕漁具

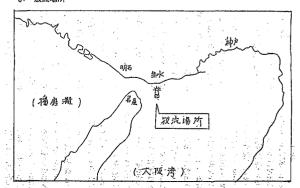
魚体の大きさ (全長と体重)

再捕者の住所氏名

₹655 神戸市垂水区平磯 3 丁目 1 番10号 神戸市漁業協同組合 TL078-706-

(お知らせいただきました方には記念品を贈呈いたします。)

放流場所



た。いろいろ出来事に出

多くの人達と知り合え

との頃である。 つかしく思っている今日 拓

終わってはや二カ月が過

洋上大学の研修旅行が

くわした。船上でのスタ

疲れたこともあった

ぎたが、船上での、中国

間の間は、やるだけやっ る。筆記試験、面接と二時 で七人が受け二人が落ち めである。農林水産関係 よいが、落ちた時はみじ 国へは行けない。通れば 試験に通らなければ、中 ことができる。 しかし、 やっと洋大に参加する と心の中で祈った。八時 元気な顔が見れるように の日が来た班の皆んなの った。(一部省略) する、 それから数日後、出発 約一一〇名が集ま

はじめる。しかし研修は

中止にはならない。百人

光と中国料理が味わえる

と思うと心も浮き浮きと

してくる。

日間は、研修もなく、観 中国に着く、これから三

の二時間が、苦痛になり

るが今度は、下痢になる 船酔している人の数も減 ほどが脱落する。三日目

者が増える。前途多難で

ある。天津といえば栗の

最初の訪問地は天津で

の影響で船が揺れ、一人

ある。

四日目

待ちに待った

二人と船酔始まる。研修

始まる。学長の挨拶から 乗船することが出来る。 続き一時間後やっと船に (一部省略) 時ごろから開校式が

と中国へ現実として行け た通ったのである、やっ 局から一通の郵便が届い 開きなおってしまった。 たら、それでええやと、 別研修で兵庫県から参加 るのである。心の中は嬉 しさで、いっぱいである。 それから数日、青少年 これからが中国へ行く のようなものを覚えた。 うと心の中になにか感動 で十五日間過すのかと思 岸してあるこの大きな船 くら丸の船体が岸壁に着 はこれから乗り込む新さ 時間で舞鶴に着くそこに 過ぎ神戸駅よりバスで四 船にのって二日目台風

水

参加して

洋上大学に

た て立往生したこともあっ ではホテルの部屋がなく たこと、そうそう、北京 女達とバレーボールをし 体調をくずしたこと、お ンツや、慣れない土地で と迷ったとと、現地の少 土産を買うのにあれこれ 数えあげればきりが が、ともあれ私の初めて

中の写真を見るたびにな

まだ薄れておらず、旅行 でのさまざまな思い出は

り過ぎたことだった。 のは、 参観地をゆっくり見るこ のだった。 の海外旅行は充実したも とができず、かけ足で通 ュールの進行が速くて、 ただ一つ、残念だった 最初のうちスケジ

休みにちょっとスナップ の友人と会合をもってい ろうか。もしそうであれ ば幸いである。 うに感じてくれているだ 今はおもに同じ地域内 友人達も、私と同じよ

すればまた視野が広がる 会うつもりである。 そう るが、そのうちもっと他 他府県の仲間達と

南山

龍昇

三人が腰掛けられるほど

船内活動の

ングフェスティバルでの ち、来たる11月28日のヤ ぞれの職場の話などもし 上大学の思い出話、それ えて大わらわである。 友人達と毎日 会合をも たりする。 洋上大学の研究発表に備 会合では、この他に洋 そして今は研修で得た

なり、視野が少し広くな いている友人とも親しく は全く縁のない職業に就 ったような気がする。 この会合により自分と

大学を存続させてほしい



天津動物圏のパンダ。 のしり、のしりと・

座席もゆったりしていて 車は日本のより大きく、 専用列車で行動する。列 出来だすのもこのころで のまとまりが出てきた。 くなる。とのとろから、班 食事の不安が募る。しか 都市である。北京とは少 上海に着く、さすが国際 一人、二人とカップルが し雰囲気が違う。また、 上海から次の無錫へは 北京よりも食べやす



船内の食事 話もはずみます

フ П



に汗をながしている。

え、現在テニス、ゴルフ 務。日頃より体をきた

県漁連経理 課に 勤 橋本守弘君

く、何らかの形で役立て していきたいと思う。 決して無駄にすることな ものは多いが、それらを ともにいろいろな活動を って、親ぼくを深めると 間達と定期的に会合をも 今回の研修旅行で得た これからも、多くの仲

年に有意義な経験を与え 感謝してやまない。 貴重な体験の機会を私に られるように末長く洋上 与えてくださった方々に い間ではあったが、この 旅行は十五日間という短 これからも、多くの青 洋上大学での中国研修

たいと思う。 大会堂で夕食を食べる。

二日間の船中が終り、

見学し一万人収容の人民 える天安門広場や故宮を 京に向う。五十万人が集 でバスで走る。(一部省 到る処で始まる。しかし 写真のシャッターの音が 学、皆んな感激していて 物園に着く。パンダの県 翌日は、中国の首都、北 ルに向う。 ってきた。

に活躍中。

(写真右)

分ぐらいになる。冷たい なり、暑さで参る者も半 が上がり、三十五度にも く。このころから、気温 の目的の、万里長城に行 翌日は、中国での最大

助かりであった。 の後の中の三日間に、大 賞品として梅干を貰うて 十四組中六番目に入る。 で忙しくなる。洋大祭は 祭が始まる為、その準備 気持になるが、次に洋大 の上の生活でほっとした 夕食が終り、次の訪問 上海に船で向う。船

を痛感した。 上海で船に乗船し一路

> 兵庫県漁連 橋本

守弘

はじめ種々の研究活動 に所属。新技術開発を ですこしガックリする。 時期は栗が取れないそう イメージがあるが、この 天津市内を巡り天津動 仮屋水産4Hクラブ

北京の幼稚園でちょっと

洋大十五日間は終りであ

了証書をもらう。これで く洋大最後日、学長の修 皆んなと別れの日が近づ

である。サービスもよか った。(一部省略)

日本に向う、一日一日と

最後の訪問地、

蘇州へ

狭められる。蘇州のスポ 雨にたたられ行動範囲が

実際に活動するのに、

ーツ交流会で、バレーボ

(写真左)

天津賓館へ二時間ぐらい を見てその日の宿泊する た。そこから、人民公社 食べることは出来なかっ 料理とは違い過ぎる為、 る。しかし日本での中国 の中国料理が食べられ に向かう。続きは、待望 来る。渋が渋が諦めバス る為後に入る者は見るこ あまりにも学生が多すぎ とが出来ないまま時間が

クが多い。その中をホテ に怒られるが、持って帰 て帰る。後で、スタッフ その記念に、はしを持っ 夜の天安門は、アベッ ある。

団扇などであおぐだけで がない為皆んな我慢し、 中国はあまり冷えた飲物 飲物が飲みたくなるが、 中国でのこの 三日

あまり食事が進まな

日間の中国の感想は、 中国滞在の日が来る、 するようになる。最後の 船のタラップを登るのか た一つこれだけの荷物で る。皆んな手荷物やみや かさ、身分の差の大きさ 間の多さ、大陸のおおら を抜いていた ようで あ が出来たが、中国側が手 男子は健闘して勝つこと と女子が心配そうな顔を は簡単に敗れてしまうが けもので一杯である。 ールの試合をする。 女子

かった。

これからの人生に培ちか る。 加して新しい 友人も出 り」などを洋大生の真の 当に良かった。 思う。洋大に参加して本 見方が、幾分変わったと 釆、自分の考え方や物の って行きたい。洋大に参 友情と連帯意識を持って 活動することが出来なか 教科書問題が壁となって ったことが、残念であ 洋大の主旨の「友 「新しいふるさる作



50万人が集える天安門広場



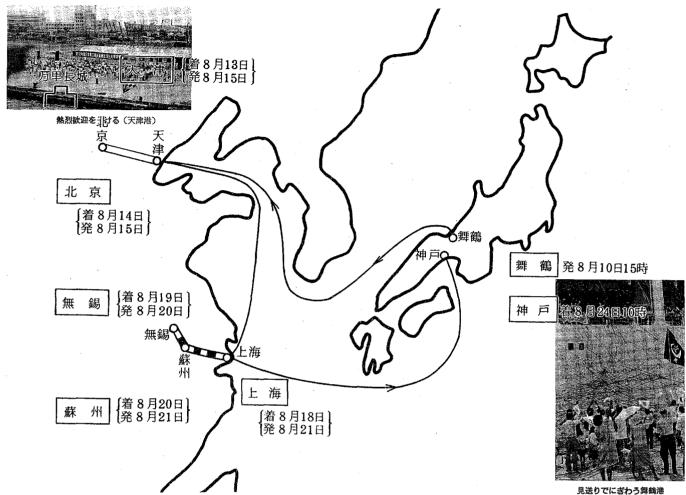
健康維持には太極拳



はるか続く万里の長城



無賜大湖の業署



や中国青年との交流を通じて視野の拡大や国際協力精神のかん養が図られ

本県漁業関係からは2名の若者が参加した。

の

目

的

とろ」の問題に目を向け

情と連帯を培うととも を通じて自己を高め、友 に乗り、団体生活と研修 今国は、近畿と歴史的に関係の深い中華人民共和国を訪問。実情の見学

とが目的で、兵庫県をはじめ、近畿2府6県から四〇〇名の若者達が参加

"新しいふるさとづくり・新しい文化圏近畿づくり" の担い手を育てるこ

この洋上大学は、研修や団体生活のなかから自立と連帯の精神を学び、 『近畿はひとつ』の立場にたって、第3回近畿青年洋上大学が8月10日

から15日間にわたって開学された。

テーマ「こころ」

の中から立ち上がり、豊 ない高度経済成長を成し その結果、他国に例を見 ひたすら邁進してきた。 かな国を建設すべくただ わが国は、戦後の荒廃

ば満たされるほど、逆に 加える青少年の非行問題 こかに置き忘れてしまっ てくる現代人の「こころ」 藤そして孤独感がつのっ 心の不安、いら立ち、葛 も、物質的に満たされれ 最近ますます深刻の度を たのではないだろうか。

べての人々が他人の幸福 ಠ್ಠ 家庭、職場、

日本そして世界中で心の かねばならない。洋上大 人間関係を創り出し、す ふれ合いに満ちた暖かい としたゆえんもここにあ 学のテーマを「こころ」 地域社会

福への道を切り開いてい らに問い直し、本当の幸 真の豊かさとは何かを自 義はまさにここにある。 組んでいる中国を訪れ、 て、彼らの生き方や「こ 中国の青年達とも交流し 気に燃えて近代化に取り であり、現在は新生の意 に、日本文化のふるさと ころ」を学ぼうとする意

ている。洋大生一人ひと への探究が始まろうとし 集いの中から「こころ」 今、洋上大学の若者の

求めるのに急なあまり、 幸福を、物質的豊かさに はないだろうか。人間の なったといえるであろう 心の底から本当に幸福に 飛躍的に高まってきてい 同時に、われわれの個人 な発展がもたらされると また、現代における科学 われわれは心と心のふれ くまん延しつつあるので か。むしろ、われわれの 生活の利便性や快適さも よって、社会経済の急速 技術の目覚ましい進歩に 豊かさを経験している。 百う人間本米の生活をど 「こころ」の病は広く深 しかし、われわれは今 に思われる。 決を求められている「こ 14 13 10 今こそわれわれは、解

訪

問

地 活

動

20

太湖遊覧

スポーツ交歓会

水秀飯店 文芸参観

湖浜飯店 人民公社

蘇州

蘇州飯店

天津資館 天津新港入港 北京天安門 故宫博物院 地毯工場 义芸参観 人民公社 水上公園、 京都舞鶴港出港 人民大会堂 動物園 19 18 15 万里長城 無錫 天津賓館 少年宮 労働者新村 上海港入港 天津新港出港 明の十三陵 船上交歓会 魯迅先生墓参献花

24 21 刺繡研究所 宝帯橋 亲山寒 神戸港入港 上海港出港 **黄浦飯店**

われが自分の生きている ある。そのために、われ る社会にしていく必要が を期待したい。

りの努力と相互協力によ 少しでも深められること り、この意義ある探究が

遂げ、かつてない物質的

の病を象徴しているよう

を自らの幸福と感じられ

年四〇〇余名が一つの船 である。近畿八府県の青 他の分野、他の地域、他 家庭、職場、地域社会か 深めることは非常に重要 万にじかに触れ、理解を の国の人達の生活や考え 現状にまで目を広げて、 ら日本の、そして世界の

6 7 8 9 10 11

97.55

昭 56

昭,55

昭,56

与法があるが、効果が不

治療法は薬剤の径口投

5

B23.55

昭.56

がよい。予防法には夏か では4~7日間の断食法 同で薬剤費も高い。現状

ら秋にかけて、

連鎖球菌症

類結節症

VIIIIIII

11/1

MADA

ほどへい死尾数が多い傾

特に収容密度が高い

向がみられる(第2図参

じ料性疾病

シケの後が罹 病 しや す である。本症は台風等の ず発病する細菌性の病気 〇~一才魚の大小を問わ 時期は、夏から冬にかけ

ブリ養殖における魚病の発生時期

て魚が成長した段階で、

2 3声

VIII.

要注 注

意

れているため、 鎖的環境で高密度飼育さ

色々な病

の発生時期は年度によっ 水温が僅かに変れば、 **養殖というものは、閉**

るためである。例えば、 境要因と密接な関係にお 病の発生条件が、漁場環 が異っている。これは角 魚病は毎年その発生時期

この図でも解るように

魚病とその発生現況

魚種の多様化が進行して マアジ、ヒラメ等、發殖 イ、カワハギ、トラフゲ 的には少ないがクロダ リ類、マダイ以外に、暈 を乗り越え、最近ではブ 赤潮被害など幾多の苦難 なった経緯もある。 による導入試験が契機と

その後、昭和四七年の

水試ノ 魚病発生予察 ブリ類養殖とその Í | 18

ったのは、昭和三六年頃 ロダイ、翌七年には福良 和六年に赤穂市地先でク れた記録がある。 湾でハマチ養殖が行なわ **魚類養殖は、戦前では昭** 現在のように盛んにな 兵庫県における海面の こりやすい。 害等によるトラブルがお

菌性)、類結節症(細菌 しては、連鎖球菌症(細 もへい死率の高い魚病と も約一〇%位の被害率が が多く、現状では平年で 推定されている。なかで 特にブリ類の魚病被害

뗽

∭ ∌

の一環として、魚病の発 病対策における調査研究 性)、餌料性疾病(餌料) があげられる。 水試では、従来から角

天候

からで、それには昭和三

(小割網方式) での県営

(仕切網方式) 、由良湾 年、三四年の福良湾

おりである。 時期を示すと第1図のと 因果関係などを調査して 生状態や漁場環境等との いる。これら魚病の発生 てズレることがある。 魚病発生は漁場環境に 魚病発生と漁場環境

ている。 て魚病の発生予察を試み 記載、魚体検査等によっ な環境調査、養魚日誌の デル漁場を選び、定期的 め、昭和五五年度からモ 支配されることが多いた

りである。 に発生する細菌性の病気 稚魚期(魚体重30~25g) 疾病別にみると次のとお 類結節症―ブリ発殖の この結果の 概要を主な 水温が17~25℃の周

いる。 養殖方法への改善が、極 予防対策に重点をおいた を無視した養殖でなく、 考えてみると、漁場環境 今後の養殖業のあり方を めて重重な課題になって それぞれの環境に応じた このような現状より、 2

るか。

使用

対策である。 径口投与するのが最良の 治療法は降雨前に薬剤を くなる(第2図参照) が多いほどへい死率は高 で多発する。特に降雨量

連鎖球菌症―この発生

12

(病理研究室・片嶋)

ら本打をすること。

効果的である。 径口投与する方法が最も ン剤)を、餌料と混ぜて な時期に栄養剤(ビタミ 魚類養殖とその課題

の対症療法に重点がおか 魚病対策も従来では魚へ 業の問題点をあげれば、 使用量に規制が加えられ から薬事法の改正でその れてきたが、昭和五五年 っていること。さらに、 まな魚病の併発要因を持 密度過多を招き、さまざ に、魚体の増大化と放棄 養殖技術の進歩発達と共 最近における魚類養殖 工具類 (1)ハンマの面のきず、欠 Iハンマ類 た場所に格納すること。 取り出せるよう定められ きる状態に整備し、すぐ 工具類は、常に使用で

うとと。

の握り部分にすべり止め (6)油がついていないか。 (5)ひび割れはないか。 入っているか。 (4)適正なくさびが確実に (3)柄は直角にしっかり入 (2)柄はゆるんでいない け、まくれ、 っているか。 形はないか。 (切り込み) がつけてあ その他の変 (2) か 曲 り、 Ⅱ たがね (3)双先はにぶっていない かったり (1)頭部にまくれはない 1、点検

割れ、

欠けはな

ے کی

いこと。

の高所作業の場合は、

、使用

ていることである。

ے کی なるようにハンマを打つ (3) 双先と材料の角度は平 ②危険のない持ち方をす (4)たがねの軸心に直角に にすること。 たがねでは三〇度ぐらい を一〇~一五%位だす) ること。(平たがねは頭 がねを使用すること。 山はつり作業では保護め かか 1 Ⅳモンキ・レンチ 意すること。 点検

(4)斜め打ちをしないことすること。 先手と向い合わないよう (5振り上げる範囲の障害 (3)先手ハンマ作業では、 留意し、自己の力をわき (1)一~二回軽く打ってか 物は、確認して危険のな まえて無理をしないこ は、足場、周囲、動揺に ②大型ハンマを使うとき 摩耗はないか。 (2)きず、割れ、 山あどの開きすぎはない エット、モンキ) 1、 点検 めがね、ボックス、 **旧スパナ類(片口、両口** まくれ、 ラチ 1 スパナの項に同じ。 2、使用 かり (5柄のねじれ、曲りはな み合わせは円滑か、 きはないか。 ②下あどに著しいがたつ 山あごにきず、割れはな **サパイプレンチ** いないか。 (4)ウォーム軸はゆるんで つきはないか。 (3)ウォームとラックの噛 山はさみ部の歯の欠損 がた

> いこと。 りは除く)

使うこと。

1、使用

₩やすり類

のものを使うこと。

似物をこじあけたり、

Waと廻し わないこと。 漁船員安全シリ ĺ ズ 32)

は、お互いに合図をし合 の組になって行う作業 保護めがねを使用するこ んの飛散する作業には、 (6)さびついた材料や粉じ いようにすること。 Ļ (3)手前に引いて使うと ませものをしての使用は 2 て無理な締め方はしない たり、柄をたたいたりし (4)柄にパイプを継ぎ足し 向になるよう使うこと。 ②下あごが、引く力の方 しない) (1)ナットのサイズにあっ たものを使うこと。 使用

2

なか。

٤

下防止の索、袋などを用 (6)ハンマがわりに使わな (5)油手で柄を握らないこ たときの足場、姿勢など (5)柄にパイプを継ぎ足し ること。 60パイプ・レンチが外れ 扱いをしないこと。 たり、たたいたり無理な は特に注意すること。 て使用し、嚙み合わせに (4)できるだけ手前に引い いる場合は、十分ふきと (3)はさみ部に油がついて 締めること。 径に十分嚙み合うように (2)調節ねじは、パイプの イプレンチを使うこと。 (1)パイプの径に適した

神戸市東灘区住吉浜町17 TEL(078)811-117167, いすご自動車株式会社

に留意すること。

曲りはな (2)はさみ部の開閉は円滑 摩耗はないか。 で調節ねじの作動は正常

かいい

(3)柄のねじれ、

(4)柄に曲り、ねじれはな (3)きず、割れはないか。 使用 1、使用 「何マリン・スパイキ ているものは適正にとい で使うこと。

(3)ハンマがわりに使わな ②曲った場合はそのまま うこと。 使用を続けないこと。 (1)先端は適正にといで使

③日型は先端が丸くなっ と。(5)作業中スパイキを ン廻しには使わないこ (4)シャックル・ピンのピ たりしないこと。 板に置いたり、突き立て 離す場合は、不用意に甲

へい死尾 類結節症 (昭,55.8月) 繭 数 В 30 10 20 台 숌 風 風 へい 死 爲 連鎖球菌症 (昭,55.9月) 觐 10 20 30 ₽ 魚病による い死星数の傾向

専務参事会 В 但馬漁船保険役職員研修会 Ħ 11 県漁害神ソフトボ 共済組合理事会 17 ⊟ 18 E 20 В · 🖪 22 颇百内海海区漁額委 E 海区漁舗委

系統団体の動き

9月

水色の羽根裏金運 力な励まし愛の手を <御協力をお願いします

山ねじ隣に合った大きさ (1)柄のついているものを がねのかわりに使わない (3)やすり粉を口で吹き払 ②テコのかわりに使わな (小型組やす た 高速への挑戦 UM06BBIB 特長 1.小型、軽量、高出力 2.卓越した耐久性、信頼性

決議を満場一致で採決、

敬斉唱、浜戸県漁婦連副

専務への道の五ケ月田

ヲ不許

調停者タル我々

モトカク多用ナレバ明日

ノ用務山積セリ

コレ以

騰シ居ルタメニシテ 回答ナキハ先方ノ商職沸 ルニモカ、ハラズ未ダニ シタル程ノ譲歩ヲナシタ

荏苒日時ヲ空費スルコト

度ト謂ヒタルモ「モハヤ 意志表示ヲ明日ニ延期シ

先方ノ使者来ラズ

全員による漁協婦人部の

室津漁協婦人部長の大会 する講話を拝聴し、津田

人部活動によせて」と顧 (但馬文教府)の「漁協婦

(第三種郵便物認可)

天気予報は八〇%あてになる

後日までの天気を予想す かなり好成績の部類だと 報をする上できわめて条 ても種類はいろいろ。 件が悪い。平均八十点は 一口に天気予報といっ

天気図記入用紙

るのが「天気予報」で、

十二時

て 意味は、

うっかりしていては

「いつもと違っ

見ヲマトメラレタキコト

ニ対シ至急魚商組合ノ意 **阿区長 咲花魚商組合長**

時刻晩キヲ理由トシ決定

時間余ヲ経過スルモ未ダ 話ニテ応酬アリタリ

ヲ持出スコトハ逆ニ解決

がグルモノナリ

者ニ対シ友田明吉氏復席

乗上タル形ニナリタリ

咲花氏一旦ハ

諾ス」ト答申アリ

大光及栄正

度にある日本は、天気予 変わりやすい鳥国で、 に並べて、自己採点をし 予報、実際の天気をヨコ 区気象台では、天気を二 るものだろうか。東京管 天気予報はどの程度あた 形が複雑、地球上の位置 ているが、それによると 十八種類に分け、 も気象変化の激しい中緯 囲まれて、気圧が急に 均八十点だという。海 タテに 地 予報だ。毎年三月十日に 日に予報するのが三カ月 で 旬 **春から梅雨、夏、**

警報が出る。強風波浪注 のが寒候期予報だ。 意報などの「注意報」の される場合には注意報と 特性を予報して発表する じく十月二十日に秋から するのが暖候期予報、 かけての天候特性を予報 気象による被害が予想 春先にかけての天候 初秋に

「天気予報はあてにな 単位に分けて、 **麦。三ヵ月間の天候を月** 予報するのが一カ月予報 とう一ヵ月間の天候を上 さらに四種類がある。 気予報で、長期予報には の予報をするのは週間天 回発表される。毎週火脚 と金曜に次の週の七日間 中旬、下旬に分けて 毎月十日と末日に発 二十一時の毎日五 毎月二十

予報の種類や意味を正し けの航空気象予報、 するのが身のためという く知って、 い」などとうそぶくより 気予報はあてに ならな 象予報などがある。 に鉄道気象通報、電力気 なじみが薄いかもしれな よ」という意味だ。 いが船舶向けの波浪予 そのほか一般の人には 海上予報、飛行機向 さら

被害が出るかもしれませ 報」のは、「いよいよ危 危険ですよ」 というこ あり十六時散会した。 険が迫っている、 大きな 大雨警報などの

> ク外途無キナリ」ト再考 シト認メ調停ヨリ手ヲ引

我々ト雖モ当地ノ商人ニ 件ヲ持出スニ非ザルヤ フニ我々ノ帰港ニ付難条

上遅延スルトキハ誠意無

ヲ促シタルトコロ

「直チ

来スモノニ非ズ 一 拠ラザレバ経営ニ支障ヲ

ナスニ依リ暫ク猶余ヲ乞

フ」トテ魚商組合ノ会合 ニ会合ヲ行ヒ意志決定ヲ

タルモ先方ニ誠意認メ難

: 花 英

治

両区長ノ調停申込ニ応ジ

テ事後承諾ヲ求ムルコト スルモ 不在者ニ対シテ レニ対シテハ全員意見ノ 居残組(村瀬 シ度」ト申入アリ ナサレル様御協議相煩ハ 意味ニ於テコレヲ四隻ト 回答アリタルモ我々ノ仲 求メ「先般三隻帰港ノ旨 成ニ解決ヲ行フベシトテ トシ四隻帰港……英隆 答ヲナシ得ザルヲ本体ト 介調停ニ対シ花ヲ添フル 会終了後船主側ノ参集ヲ 両区長打合ヲナシ レタルヲ機会トシー気呵 ハ我々居残老人ノ顔ヲ以 総代会販売事務所ニ開カ 一致ヲ見ルニ非ザレバ確 小西)協職ノ結果「コ 友田 船主

昭和ノ中一隻……ヲ受 盛運 旨モ伝へ懇談ノ結果完全 ニ意見ノ一致ヲ見タリ 員三人小林屋ニ来ル 区長彼処ニ於テ委員ニ面 八時頃魚商組合ノ交渉委 ハ咲花氏宅ニテ開カレタ 漁 船主側ノ四隻帰港ノ 待ツコト四時間午後 協 代 (その十三) 作

シ」ト退去ス 爾後委員 式ノ回答ヲモ タラスベ 依而委員ハー復命ノ後正 ト両区長トノ間ニニ回電 事ニ当レバ容易ニ解決ス 出シタリ ノ事ヲ例ニ執レバ際限ナ ノ後竟ニ相当ノ条件ヲ持 ツ、両区長自ラ咲花氏宅 ニ退場セントスルヲ宥メ キニ依り辞退ス」トテ将 組合議論百出激シキ討論 一赴キ直接交渉ヲ開始ス 両区長ヲムカヘテ魚商 要ハ双方誠意ヲ以テ **両区長「過去** 行退座セリ

者ニ托シタルモ竟ニ応ゼ キナリ」ト力説 見ノ交換ヲ遂ゲラレルベ ニ選先シ和協ノ途ニ付意 方無条件ニテ白紙ノ立場 ノ曙光ヲ見タリ 委員来ル旨ヲ告ゲ「解決 ヲ報告シ程無ク魚商組合 分前村瀬 友田ノ両氏強 モ聴カズ両区長帰来ノ数 暫ク待タレヨ」トノ慰留 長他ノ「ソレハ邪推ナリ ニ相違ナシ 先方ニ解決 シテ調停者ヲ苦シメ居ル キハ必ズヤ難条件ヲ提示 間相当経過セリ ョリ先両区長不在中「時 小林屋ニ引揚ゲタリ ルコトニ決定シテ両区長 員ヲ送リ船主側ト対談ス イフコトニ議マトマリ委 説シ漸ク調停者ニー任ト ビズ」 トテ再三再四組合 ノ誠意認ムル能ハズ 、ハラズ調停者ノ帰来ナ ハヤコレ以上座スルニ忍 **両区長経過** 此際双 ニモカ 和平工作ハ大イナル暗礁 カクテ散会シタルハ実ニ 味ノ挨拶ヲナシタリ リ調停ヨリ手ヲ引ク」 意 業組合長ニ対シ「コレ限 治郎 ニ魚商組合側委員山本重散会スルコト、ナル 既 リ一先ヅ休会スベシトテ 改メ翻意シ虚心胆懐和平 シ何ノ面目アラム態度ヲ 憾二堪へズ 両区長ニ対今ノ宮ヲ聴クコト頗ル遺 角コ、マデ漕ギツケタル リタリ 二十八日午前三時 ゲ引取ヲ申出デ改メテ漁 モ両区長アリノマ、ヲ告 七ノ三氏階下ニ来リ在ル 解決ヲ保留シタル形ヲ執 タク更ケタレバ明日マデ 和ス シカレドモ夜モイ 友田氏ヲ諭シ一同又之ニ ノ途ヲ講ゼラレタシ」ト ニ船主側ノ邪推ニ依リ只 停ヲ辞退スル」旨申入ア ノ如ク解決一歩手前ニテ マデノ奔走ヲ謝シ旁々調 船主側ヲ代表シテ今日 川端真一 小林良 漁業組合長

第27回兵庫県漁協婦人部大会開かる 10月26日 神戸市立水産会館に250名が集う

過去20余年にわたる活動で学んだ協同の精神によっ て「明るく豊かな漁村づくり」に向って前進すること を5,000 余名の部員の総意をもって誓う。



祝辞を述べる山田県漁連会長

審査の結果津居山浩漁

た

発表終了後藤原黨先生

が全国大会へ推せんされ 協婦人部発表の活動報告 いて(塩田漁協婦人部)

ールで県下各 婦 人 部 役が神戸市立水産会館大ホ回兵庫県漁盛婦人部大会 午前十一時池田坊勢漁 十月二十六日第二十七 県関係者二五〇名が 漁協組合長、系統団 さつ、 兵庫県婦人少年室長・貝 漁婦連会長の主催者あい による綱領唱和、児島県 西村浜坂町漁協婦人部長 開会され、丸一育波浦漁 協婦人部長の大会宣言、 協婦人部長の司会により 来賓の池野労働省

風

開始された。 かじめ各地区よりの推せ の概要報告があり、 副会長により婦人部活動 んによる活動実績発表が

受け午前中の行事を終っ 漁連会長より夫々祝辞を 原兵庫県副知事・山田県 午後より吉川県漁婦連

第29回「わが家の家計簿」体験談募集

動(神戸市漁協婦人部) り組んで(西二見漁協婦

共同購入と私達の歩み

(津居山港漁協婦人部) 私達の婦人部活動につ

人部)・私達の婦人部活

漁村環境美化活動に取

貯蓄増強中央委員会 都道府県貯蓄推進委員会 ы 本放送協会

あなたが家計簿を通じて体験し、感じられたことを文章につづって みまぜん

最近私たちの家計を取りまく環境は、所得の伸び悩み、税金・社会保険料や住 居費、教育費などの負担増大、あるいは人口構成の急速な高齢化などいろいろな

面で厳しくなってきております。 こうした中にあって、個性的で質的に充実した生活をしていくためには、長期 的な見方に立って、しっかり家計を管理することが必要であり、その手段として '家計簿の活用" がますます重要になってきています。

つきましては、あなたの貴重な記帳体験を新しく家計簿をつけようとしている 方や、記帳方法の改善、家計簿の活用に努力している方々の参考にさせてあげて

今回も次の要領により、体験談の募集を行いますので、奮ってご応募くださる ようお待ちしています。

家計簿をつけはじめた動機と記帳上の苦心や工夫

家計簿を継続してつける工夫や家族の方々の協力の模様

家計簿で発見したムリやムダとその改善

。家計簿によって予算生活をした結果、生活の仕方に生じた変化

。 家計簿をもとにした生活設計

これらの過程でみとめられる子どもの教育への効果グループによる家計簿記帳の勉強ぶり

など、家計簿記帳に関するものをなんでも自由に書いてください 記帳年数の短い方、初心者の方でも気軽にご応募ください。使っ ておられる家計簿はどんな形式のものでも結構です。

本文は400字詰原稿用紙5枚(2,000字)以内。本文のほか、 原 月別・項目別支出一覧表を添付してください(内容がわかる

月別・項目別文品一見次を添りしてくれ ものであれば簡単なもので結構です)。 作品は未発表のものに限ります。

原稿には、応募者の氏名(ふりがなをつける)、住所(郵便 番号をつける)、職業、年齢、同一家計でくらす家族一覧 (応募者との続柄、年齢、職業、就学状況など) 、家計簿記 帳年数および連絡電話番号を必ず記載してください。 封筒の表面に「家計簿体験談」と明記してください。

応募原稿はお返ししません。

昭和57年12月1日~昭和58年2月28日 ○募集期間

特賞 5 繝 金 各5万円 絧 金 金 優秀賞 10 賞 各3万円 35. 編程度 當 各1万円 增量涨

。応募者全員に貯蓄増強中央委員会作製昭和59年用「明るい生活 の家計簿」を発行次第(昭和58年10月ごろ)さしあげます。

入選編の著作権は主催者に帰属します。

入選発表 昭和58年6月、入選者に直接通知するほか、新聞、NHKなどの テレビ、ラジオで発表します。

⑥送 り 先 兵庫県貯蓄推准委員会 神戸市中央区京町81 日本銀行神戸支店内(〒650)